

連載18

そして音楽の旅は続く

ファンの方はデリケート、大切にしなければならない宝石。



3月になると桜が楽しみです。世の中がどんなに大変な事になっても桜は咲く。自然の美しさと強さに心惹かれます。きちんと根を張り、脇目もふらずしっかりと自分を育てているから花を咲かせられるんだと思います。自分に甘い私は、お花の水やりの時に「頑張りまーす」ってつぶやいたりしてしまいます。もともとのんびり屋で、空やお花をぼーっと眺めている時間が大好きなのですが、これまでの人生を振り返るとバタバタと駆けずり回ってきたみたい。

さて、二十歳のころに拾ってもらった音楽出版社では仕事が楽しかったので、駆けずり回るのも苦にはなりません。経理とデスクマネージメント、加えて途中からファンクラブの運営を担当しましたが、このファンクラブというのが新鮮なお仕事でした。

ステッカーやTシャツを始めとする雑貨類のデザインから販売、会報の制作、イベント企画等々。どれをとっても初めてなものばかりで、いつもピリピリ、カリカリしてました。ファンクラブのオリジナル商品をデパートの催事場に出店したとき、遅刻したスタッフにすごい勢いで怒ったこともありました。怒った瞬間にハッと「私の心の器が狭くて浅くなってる〜」って気づき、すぐに謝ることになってしまいました。それでもファンクラブ運営が楽しいと思っていたのは、ファンの皆さんに会えるからです。私はアーティスト本人ではないのでファンの方も話がしやすいようで、あれこれとアイデアの提供や本音もポロリと聞かせてくれます。これまで私にはアーティストとファンの関係しか経験がなかったので、ポロリの本音には胸にジーンとくることがや勉強になることが多々ありました。ファンの方はデリケート、大切にしなければならない宝石なのだとも思います。そしてまた、強力に引っ張ってくれるファンの方もいて、運営する方としてとても心強かったです。ファンクラブ担当の忙しさにキャーキャー言いながらも、デスクワークができていたのは、有能なマネージャーがアーティストに付いたからでした。

ジャズボーカリスト 星乃けい

officialwebsite
<https://www.hoshinokei.com>

その彼はアメリカ帰り、お人柄も素敵で仕事ぶりも素晴らしい。あんなに優秀なマネージャーに出会ったのは初めて最後です。彼はみんなに親しみを持ってテッドと呼ばれ(本名が哲士だから)強力なブレインの一人でした。テッドさんはその後、長い間チャゲ&飛鳥の事務所を経営されました。きっと素敵な社長だっただろうな。

さて、裏方として慌ただしくお仕事に励んでいたある日、私個人宛に1本の電話が入りました。その電話は東芝EMIのプロデューサーからでした。



2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をリリース。ジャズファン、ジャズメン、オーデヲファンから高く評価支持される